

福井県三方湖流域におけるグリーンインフラの経済評価

政策・メディア研究科 修士1年

学籍番号 81725187 森崎 理哉

1. 研究概要

近年日本でも注目を集めているグリーンインフラストラクチャー(以下グリーンインフラ)の経済評価は、価値の「見える化」を促し政策等意思決定の指標となるため重要なものとなっているが、実際まだあまり行われていない。そこで、本研究では洪水ハザードが確率別で整理されている滋賀県の高島市に着目し、生態系減災(Eco-DRR)の考え方をもとに、ハザードと地価の影響を評価しグリーンインフラの導入可能性及びその経済的な価値についての推定を行う。また、その結果として得られたデータをもとに事前復興の際の街の防災・減災機能や、都市におけるグリーンインフラ(特に生態系減災)の重要性などに関して提言を試みる。

2. 今学期の活動内容と今後の展望

主に研究手法の検討と学外発表を行った。手法については、研究新規性も加味した上で、ハザードと地価の関係をヘドニック法で算出しようと試みている。現在の結果としては、国土数値情報から得たデータを元に高島市でのハザードと地価の関係性の評価が完了した。高島市の公示地価データと計画洪水域のハザードマップでは、地価とハザードの間に有意な関係性が見られなかった。以上より、今後は対象地域を拡大、さらにハザードについても確率別のもを用いて優位性の検証を進めて行く。それが完了次第、Eco-DRR とのつながりについても研究を進めて行く予定である。

また学外では、11月に行われた ORF や 12月に行われた日韓交流農村計画学会セミナー、また2月に福井県若狭で行われたシンポジウムにてポスター発表を行った。全ての機会において今後研究を進めて行く上で重要なアドバイスをいただいたので、それも活かして研究を進めたい。



図 高島市におけるハザードと公示地価の GIS 情報

背景図: 国土地理院 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

想定浸水深および地価地点データ: 国土数値情報 (<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)

参考文献

- ・西田貴明(2016)「グリーンインフラで地方創生～自然の力活用し整備、経済効果も～」2016年 金融財政ビジネス p14～p18
- ・遠香尚史、西田貴明(2014)「自然資本による価値の経済的評価における動向と課題」2014年季刊 政策・経営研究 vol.3 p51～p64
- ・一ノ瀬友博(2016)「東日本大震災の津波による被災と生態系を基盤とした防災・減災」2016年 KEIO SFC JOURNAL-Vol.16 NO.1
- ・一ノ瀬友博(2015)人口減少時代の農村グリーンインフラストラクチャーによる 防災・減災 農村計画学会誌 Vol. 34, No. 3.
- ・大沼あゆみ(2017) 生態系インフラストラクチャーの経済的側面 日本学術公開シンポジウム, 未公刊